

晩秋の海浜公園に新しい魅力が加わりました。

天高く秋の空へ伸びる、皇帝ダリアが登場!



2011年11月15日撮影

ひたち海浜公園では、今年から植栽した“皇帝ダリア”が見頃を迎えました。成長すると背丈が約3～4メートルにもなり、直径20センチ程のピンク色の大輪の花を咲かせます。そのスケールの大きさから“皇帝”と名付けられました。近くで仰ぎ見ると、空に向かってそびえ立つ花の姿の力強い美しさに見惚れてしまいます。

この時期、当公園では植栽面積の大きな花は少なくなります。そこでスケール感がある花をご覧いただこうと、今年6月初旬、皇帝ダリアの苗を植栽しました。大草原北東側のサイクリングコース内「はまかぜサークル」から「バーベキューサークル」に向かう約140メートルの間に、4メートル間隔で並んでいます。

晩秋の澄んだ青空に向かって大輪の花が咲き誇る、雄大な花景色をお楽しみください。

お問い合わせ先

国営ひたち海浜公園 ひたち公園管理センター 広報宣伝チーム 青木・服部・和光

〒312-0012 茨城県ひたちなか市馬渡字大沼 605-4

TEL: 029-265-9001 (報道関係者の方は 029-265-9004・9005 迄) FAX: 029-265-9339

ホームページ <http://www.hitachikaihin.go.jp> “ひたち海浜公園”で検索。

ただいま見頃です！

11月下旬まで

皇帝ダリア

キク科ダリア属 多年草
原産地：メキシコ

背丈約3～4メートルにまで成長し、花は直径20センチ程の威風堂々とした姿から“皇帝”と名付けられました。別名「木立ダリア」とも呼ばれ、樹木に劣らぬ立派な幹がその花を支えています。幹は10cmくらいまでの太さになり、1株で100個以上の花をつけます。枝は放射状に分枝し、花茎の先端にピンク色の大輪を咲かせます。



皇帝ダリアは、夏から秋にかけて日が短くなる（連続暗期が長くなる）と花芽がつくられる短日植物で、日照時間が短くなる11月頃に花をつけます。霜が降りる頃まで咲き、今回撮影した花は3m以上の高さがありました。



サイクリングコースの間の芝生に合計35本の皇帝ダリアを植栽しました。サイクリングを楽しみながら、またシーサイドトレインからも見ることができます。



2011年7月

2011年11月



初夏から秋の約5か月間で、ここまで大きく成長しました。霜が降りる頃地上部は枯れますが、塊根が地中に残り暖くなる春に芽が出てきます。多年草のため、これから毎年花を咲かせます。ひたち海浜公園の晩秋の新たな花として定着していくよう見守っていきます。